

早来中学校 校舎再建に関して

現在学校建設に関してワークショップや審議会など議論の場を設定し、新しい学校の姿についてたくさんの方にご参会いただきながら議論し、今後の方向性を検討しているところです。

今回は、安平町立早来中学校再建事業基本計画(案)についての報告及び検討を行いましたのでその結果についてお知らせします。

■第4回合同学校運営協議会(全体会) 9月10日(火)18時30分～ 総合庁舎2F大会議室

①「安平町立早来中学校再建事業基本計画(案)」について

- ・基本コンセプト「自分が世界と出会う場所」として、地域に開かれた、または様々な世代が色々な価値観や考え、世界に出会う場所として設定。
- ・基本計画にはワークショップ等の議論の結果、計画条件等が掲載されている。計画目標には目指す学校像、施設計画の目標、ICT教育環境、避難拠点のあり方等を明記。室面積構成は、教室を広く取り学級増にも対応。図書室も地域開放に資するよう設定。体育館は大アリーナ、中アリーナの2つとし、用途によって使い分けが可能。配置平面計画は平屋建て、2階建て2パターン、3階建ての4パターンの案。
- ・本計画案について8月9日～8月29日の期間でパブリックコメントを実施し意見は0件である。そのため、住民の意見をおおむね網羅した形で作成できたと考える。

②安平町立早来中学校再建事業スケジュールについて

- ・「安平町立早来中学校再建事業スケジュール(案)」について事務局より説明。
- ・教育委員会で審議の上承認になると、9月議会報告という流れである。そして10月より設計に入る予定。
- ・今後に関しては町民参画推進条例に則って進めるため、合同学校運営協議会は今回をもって終了するが、今後はワークショップの学校を考える会で町民の方の意見を反映していく。

③その他質疑・意見等

【計画案に関して】

- ・小中一貫校と義務教育学校で設計方法は変わるのか？そもそも小中一貫校なのか、義務教育学校なのか？
→設計の方法は変わらない。今回の基本計画に義務教育学校という表現はなく、教育委員会としては、小中一体の学校をあの場所に建てるということは決まっているが、義務教育学校に関しては今後議論していく。
- ・基本計画作成において、本当に町民の意見を反映しているのか？意見を言う場はあったのか？
→誰でも参加できる形で新しい学校を考える会を開催し、町民説明会も何度も実施した。また、パブリックコメントも実施し0件という結果だった。
- ・賛成意見として、基本計画を見る限り、学校建設の財政経費としてもこれからの教育を考えるととても魅力的で良いものになっていると思う。
- ・現状、早来小学校と中学校は授業の場所確保など先生方の負担が大きい。先生のためにも子どものためにも、最大限のスピードで建設に向けて動いて欲しい。

【スケジュールに関して】

- ・このスケジュールより遅れる可能性はあるか？
→全国的な事例として建設資材の不足により公共施設の建設が遅れている状況が見られている。こういった建設資材や職人不足によって遅れてしまうことがあるかもしれない。内的要因で遅れることはないように進めていく。
- ・基本的な業務に加えて、学校建設のものが加わってくると、町の組織体制に関して不安があるがどうなのか？
→人手が足りない部分があるが、総合教育専門員の導入、基本計画に関しても外部業者との連携など業務の分散はしている。今後も問題がないように努力していく。

◇安平町立早来中学校再建事業基本計画(案)が承認された。

合同学校運営協議会(全体会)の様子



本件に関する問合せ

安平町教育委員会学校教育グループ

☎ 29 7036

メール gk-kyouiku@town.abira.lg.jp

※他の会議の詳細は、安平町ホームページ「早来中学校の再建」ページをご覧ください